

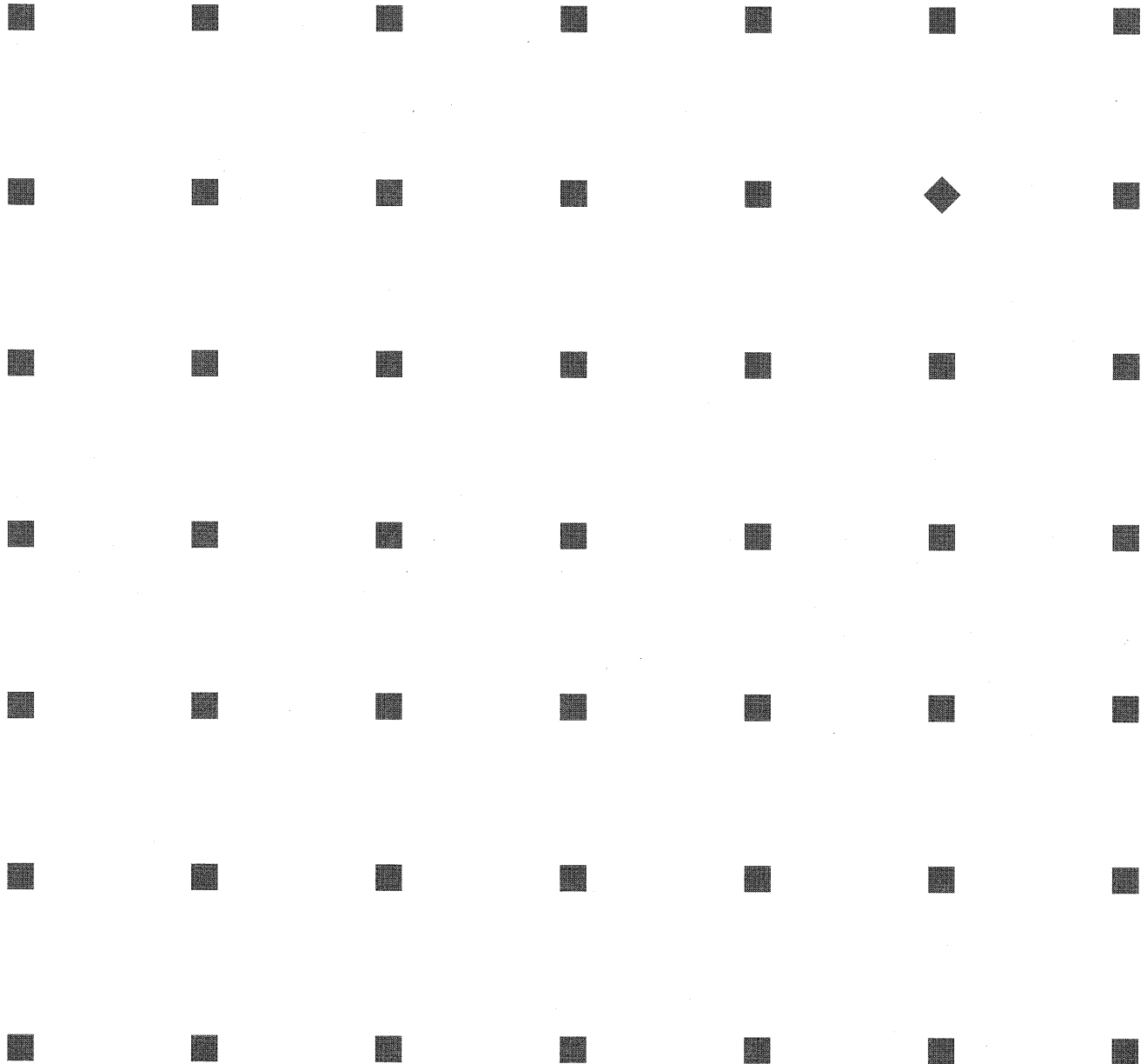
メータバイパスユニット / 東京都増圧直結給水方式給水用具

METER BYPASS UNIT

このたびは、TBC商品をご採用いただきまして、まことにありがとうございます。施工の際、商品の機能が十分に発揮できるようにこの取付工事説明書をよくお読みのうえ、使用条件にそって正しく施工して下さるようお願いいたします。また、この取付工事説明書は、ご使用になる方がいつでも見られるところに必ず保管して下さい。

20・25・30・40・50

■ 取付工事説明書 ■



目次

■ 安全上のご注意	1
■ メータバイパスユニットの構成・名称	1
■ 仕様	1
■ 運搬・保管	2
■ 設置	2
■ 操作手順	3
■ メータの交換	5
■ 停水作業	6
■ 主要寸法	7

METER BYPASS UNIT

安全上のご注意

本文中に示す警告・注意事項は状況によって重大な事故に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。また、お読みになった後はお使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。ご不明の点は最寄の当社支店又は営業所までご相談ください。

警告 この表示の欄は取扱いを誤ると、使用者が死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

注意 この表示の欄は取扱いを誤ると、使用者が損害を負う可能性または物的損害の発生が想定される内容を示します。

●お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区別し、説明しています。

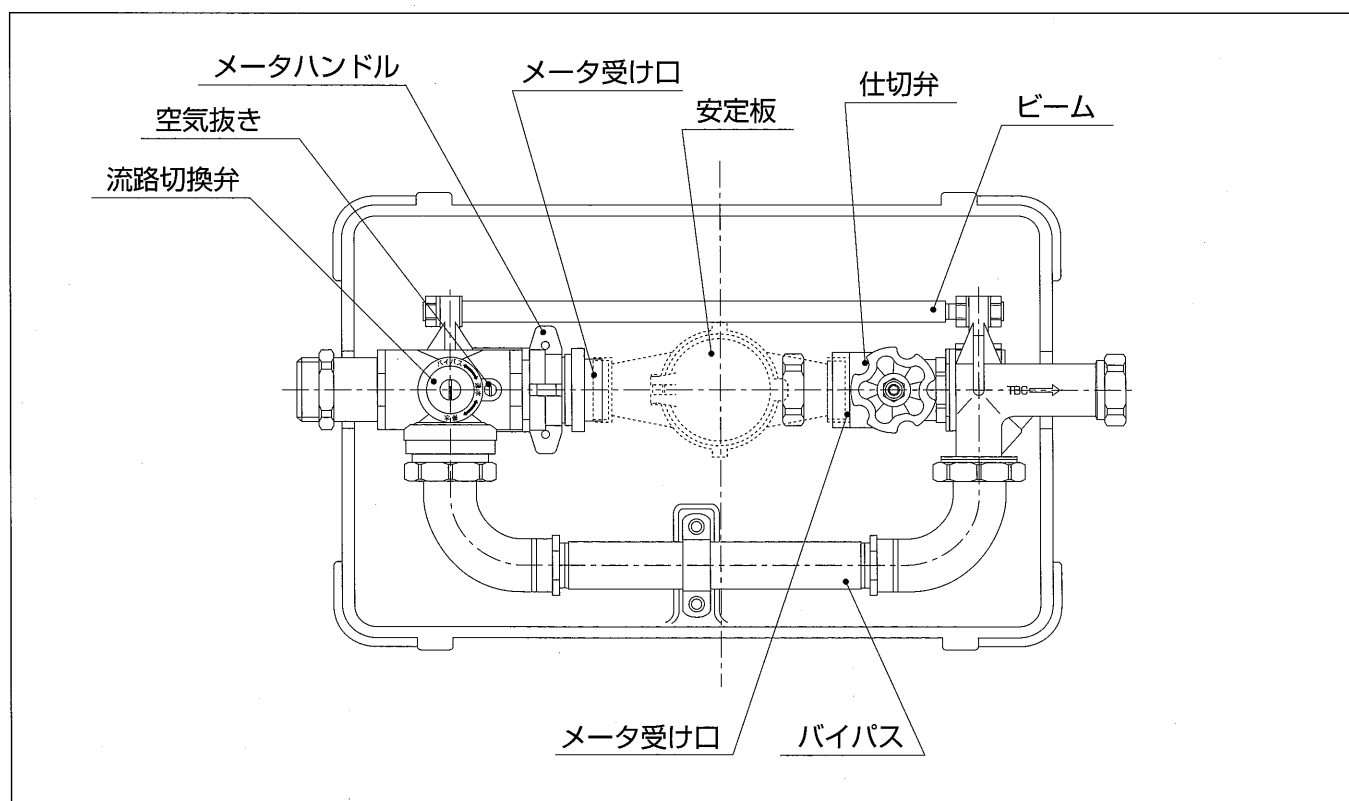


この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

メータバイパスユニットの構成・名称



仕様

	20	25	30	40	50
呼び径 (mm)		DA		DA / TV	FVA
使用メータ型式	都ねじ/上水ねじ				フランジ式
一次側接続方式	管用テーパめねじ/水道用ステンレス継手				
重量 (kg)/メータ無し	32	32	51	54	104
使用流体	水道水				
使用最高圧力	0.75MPa				

●二次側接続部は管用テーパめねじになっております。

運搬・保管

保管には直射日光・ほこりなどが当たらない水平な場所に保管してください。



警告

運搬中の落下にご注意ください。落下したユニットの下敷きになりますと死亡または重傷を負う恐れがあります。



運搬中にはユニットを傾けないでください。上部と下部が分離し、手などを挟んだり落下したユニットの下敷きになり死亡または重傷を負う恐れがあります。



注意



保管中はユニットの上に重量物を載せないでください。



フタは必ず閉じて保管してください。またフタと枠の間に指などを挟まないようにご注意ください。

POINT ■付属品の土留め板 (2枚)・防塵フィルム (2枚)・ビニタイ (4本)がセットになっております。

設置

- 1.設置場所はメータの点検及び、取り替えが容易に行える場所に設置してください。
- 2.ユニットの設置の際には流路切換弁が一次側にあることを確認し、ユニットが水平になるように設置してください。
- 3.設置前には十分に配管内を洗浄してください。

POINT

- 流路切換弁は (通水)・仕切弁は (閉) の状態で出荷しています。
- 一次側接続部は管用テーパめねじタイプと水道用ステンレス鋼管接続タイプの2種類があります。また二次側接続部は管用テーパめねじになっております。
- 管用テーパめねじは管端コア対応です。ご希望により管端コア内蔵も可能です。
- 水道用ステンレス鋼管の施工の際には下表の溝付け位置と締付トルクで行って下さい。

呼び径 (mm)	20	25	30	40	50
溝付け位置 (mm)		49		56	
締付トルク (N・m)		69		118	



警告



設置中はユニットの落下にご注意ください。落下したユニットの下敷きになりますと死亡または重傷を負う恐れがあります。



注意



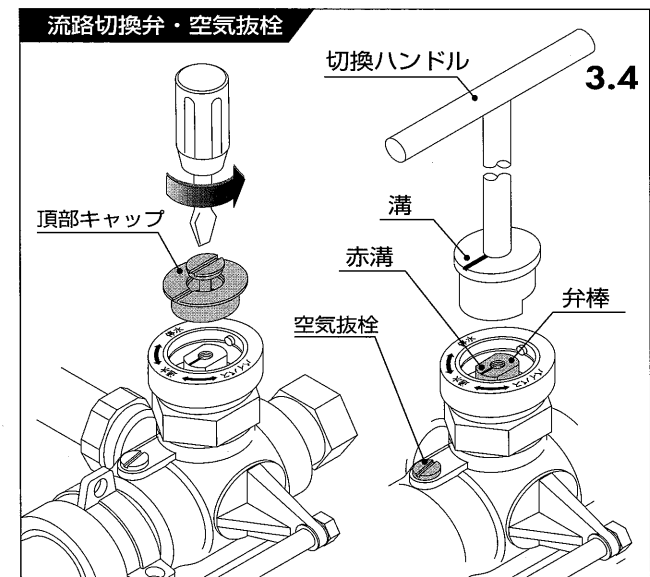
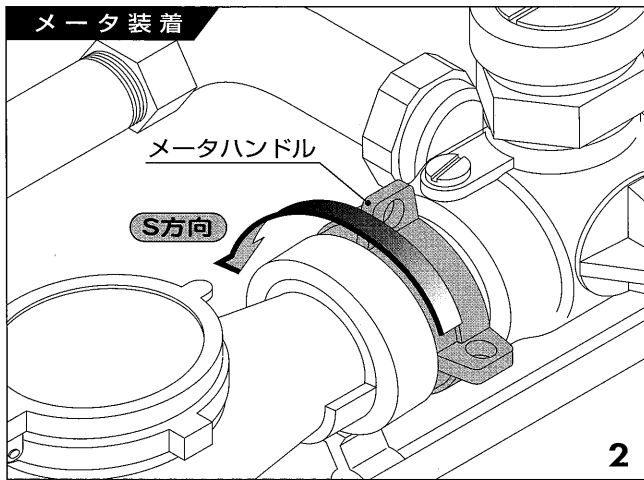
設置にはユニット上部に車両が通過する場所へは設置しないでください。ユニットのフタなどが破損する恐れがあります。

■ 操作手順

1. メータ受け口のOリング脱落防止キャップを取り外し、内側にOリングが適切に装着されていることを確認して下さい。(P6・6参照)

2. メータをメータ受け口に寄せ、メータハンドルを「S」方向に回転させ、メータを取付ます。この際、締め付けは手で行い、メータハンドルが緩まないように十分に締め込んでください。

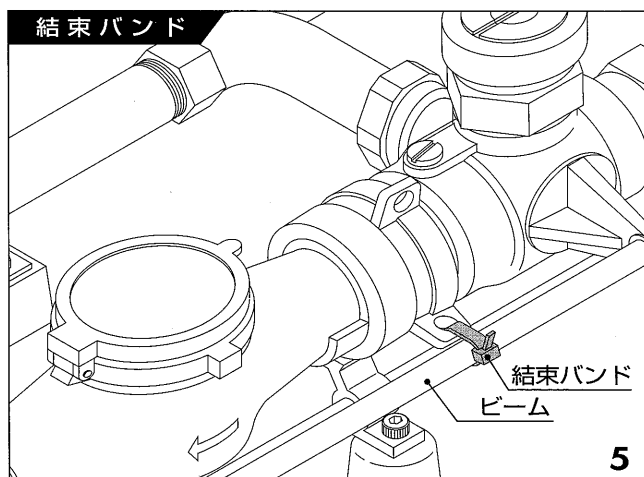
- POINT**
- 工具等を使用して締め付けますと、過度の力が加わり故障の原因となります。
 - 50mmはメータフランジの穴に相手フランジの突起が入るように合わせてください。



3. 流路切換弁の操作にあたっては頂部キャップをマイナス・ドライバー等で外し、切換ハンドルの溝を弁棒上面の赤溝と向きを合わせて流路切換弁の上部に差し込み、切換操作を行ってください。

- POINT**
- 流路切換弁は通水側に設定して出荷しています。
 - 切換ハンドルには停水用とバイパス切換用があり、東京都水道局の管理となっています。

4. 配管上流側のバルブを開け、空気抜栓を緩め空気抜きを行って下さい。空気が出なくなり次第、空気抜栓を締め込んで下さい。また、バイパス側に切換えての通水も行なって下さい。

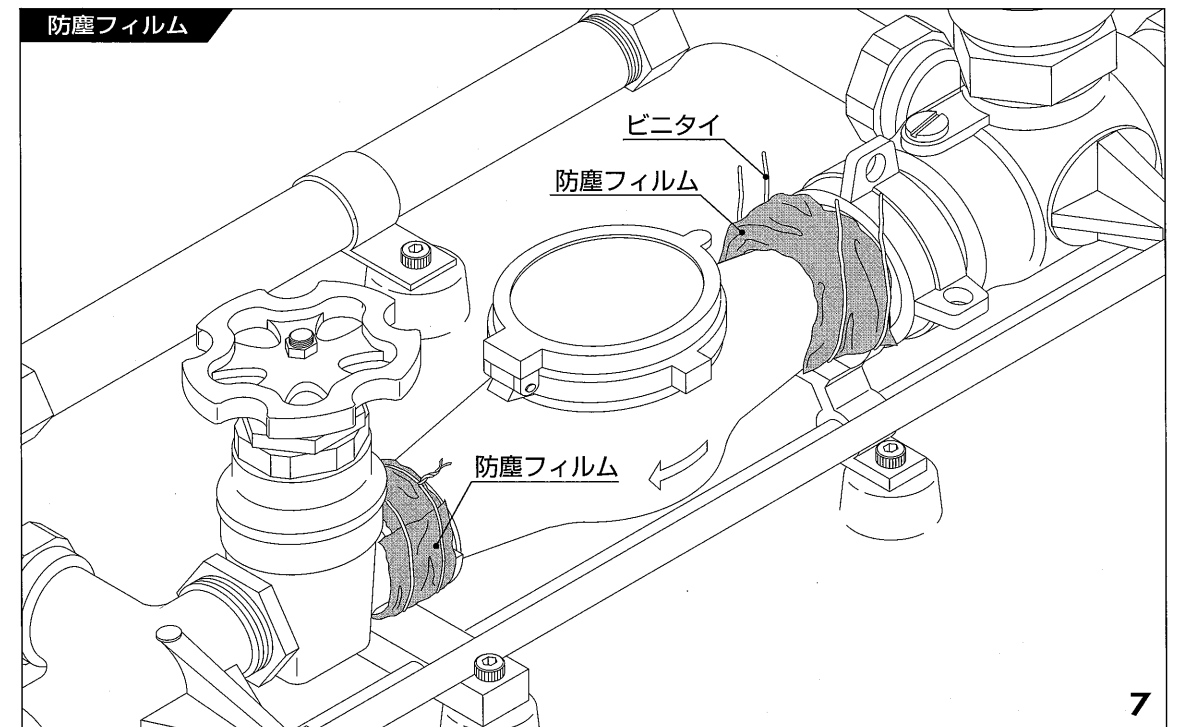


5. ユニット及びメータ接続部からの漏水がないことを確認した後、結束バンド(東京都水道局支給品)でメータハンドルとビームを結束し、メータハンドルが回転しないようにしてください。

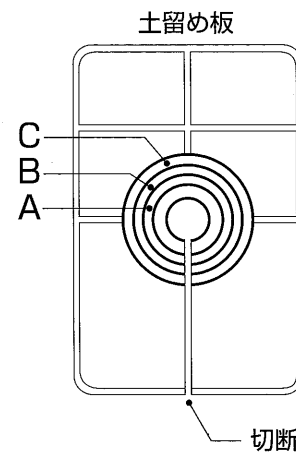
6. 流路切換弁を「通水」位置、仕切弁を「O」方向(開方向)に回転させ、水を通水させると完了です。

- POINT**
- 仕切弁は閉状態に設定して出荷しています。
 - バイパス切換ハンドルは通水位置以外では取り外せない構造になっています。
 - メータ端面の止水はメータ受け口に装着されているOリングで行われる構造になっています。

7. 通水完了後、一次側・二次側共に付属の防塵フィルムを使用し、メータ受け口を覆いかぶさるように巻き付け付属のビニタイで縛ってください。

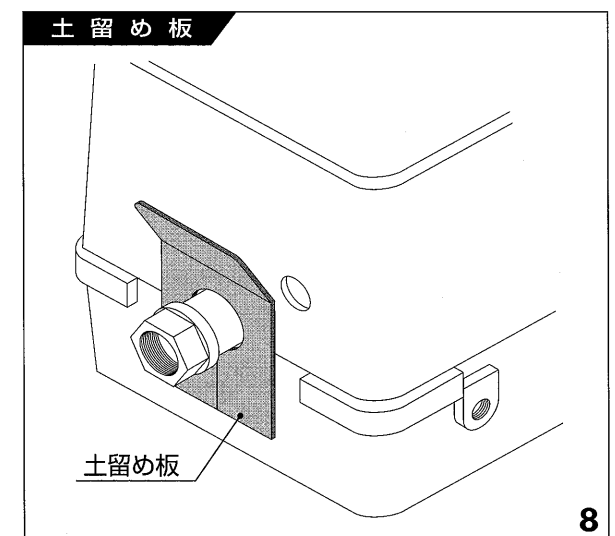


8. 一次側・二次側共に付属の土留め板を取り付けてください。



● 各サイズに合わせて切り取ってください。

20mm	(一次側/二次側)	A
25mm	(一次側/二次側)	A
30mm	(一次側)	C
30mm	(二次側)	B
40mm	(一次側)	C
40mm	(二次側)	C
50mm	(一次側/二次側)	C

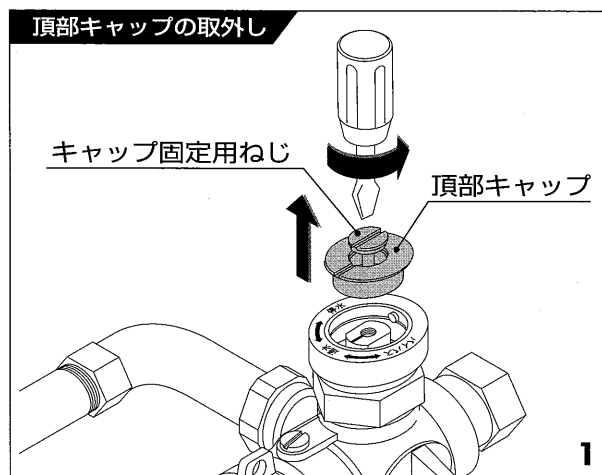
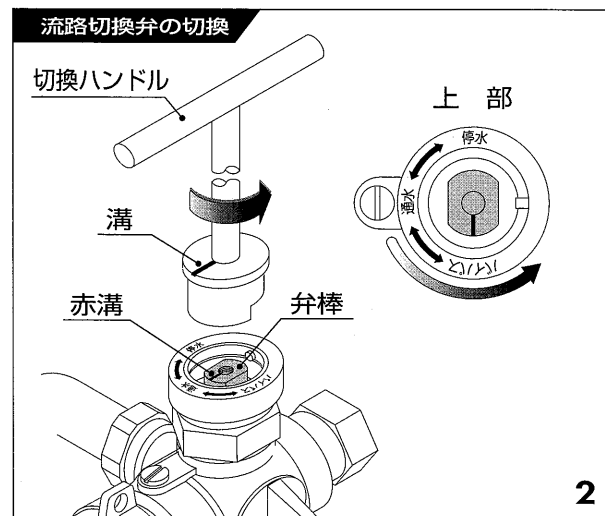


⚠ 注意

- ⚠ メータの取付方向を間違わないようにしてください。無理に取付けますと破損・漏水の原因になります。
- ⚠ 従来のメータパッキンは使用しないでください。漏水の原因になります。
- ⚠ 流路切換弁の中間位置での使用はしないでください。漏水の原因になります。
- ⚠ 50mmのメータは補足管を接続した状態で取付を行ってください。
- ⚠ 流路切換弁の操作は専用ハンドルで行ってください。違った工具で切換えますと破損・漏水の原因になります。

メータの交換

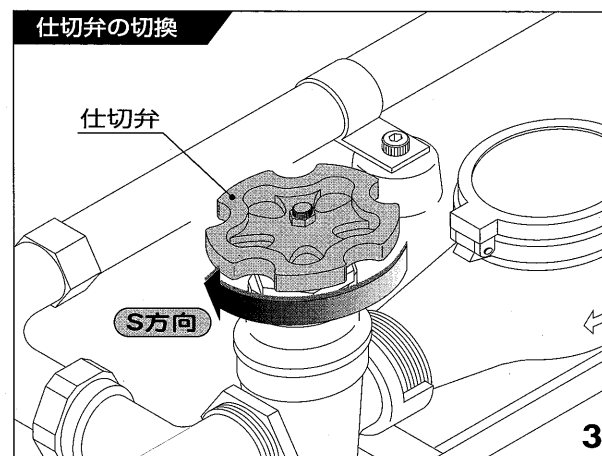
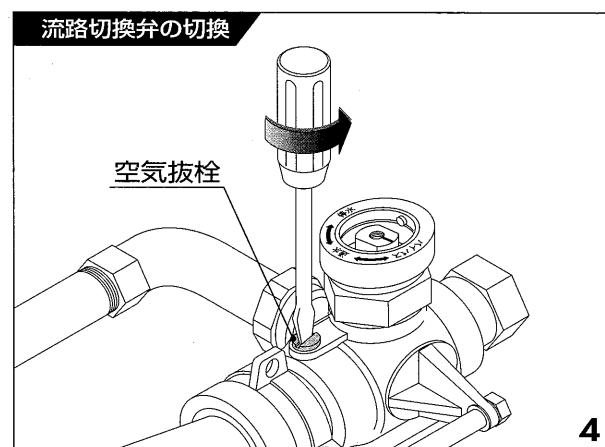
1. 流路切換弁の頂部キャップをマイナスドライバー等を使用し取り外してください。



2. バイパス切換ハンドルの溝を弁棒上面の赤溝と向きを合わせて流路切換弁の上部に差し込み、流路切換弁をバイパス側に切り換えてください。

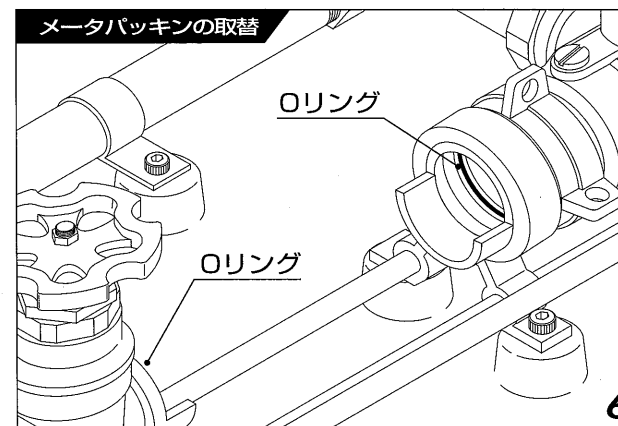
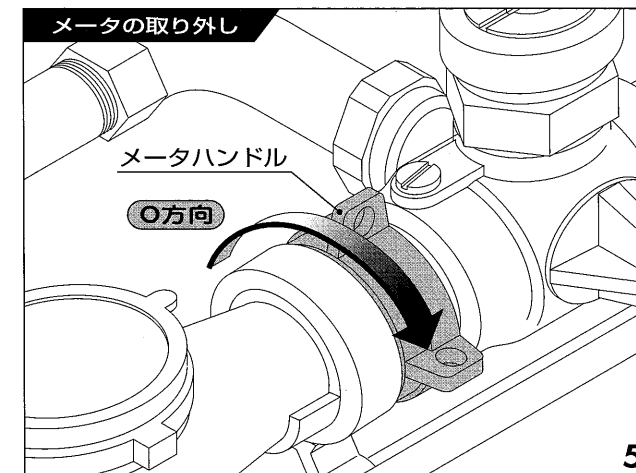
POINT ■ バイパス切換ハンドルは通水位置以外では取り外せない構造になっています。

3. 仕切弁を「S」方向(閉方向)に回転させ全閉します。



4. 空気抜栓を緩め空気抜きを行い、メータ部分の内圧を抜いて下さい。内圧が抜け次第、空気抜栓を締めてください。

5. メータ接続機器のメータハンドルを固定している結束バンドを切断し、メータハンドルを「O」方向に回転させるとメータを挟んで固定しているメータ接続機器のスライド部分が開きメータを取り外すことができます。



6. メータ及びOリング(メータシール用)を取り換える。

POINT ■ Oリングを溝から外す際は溝の内側を傷つけないように注意してください。

7. 新しいメータをメータ受け口に乘せ、メータハンドルを「S」方向に回転させ、メータを取付ます。この際、締め付けは手で行い、メータハンドルが緩まないように十分に締め込んでください。(P3・2参照)

- 工具等を使用して締め付けますと、過度の力が加わり故障の原因となります。
- 50mmはメータフランジの穴に相手フランジの突起が入るように合わせる

8. 仕切弁を「O」方向(開方向)に回転させ全開し、空気抜栓を緩め空気抜きを行ってください。内圧が抜け次第、空気抜栓を締めてください。(P5・4参照)

9. 流路切換弁を通水側に切り換え、切換ハンドルを取り外します。(P3・3参照)

10. 流路切換弁の頂部キャップの赤溝を弁棒上面の赤溝と向きを合わせてキャップ固定用ねじで固定します。

11. メータ受け口部に防塵フィルムを取り付けてください。(P4・7参照)

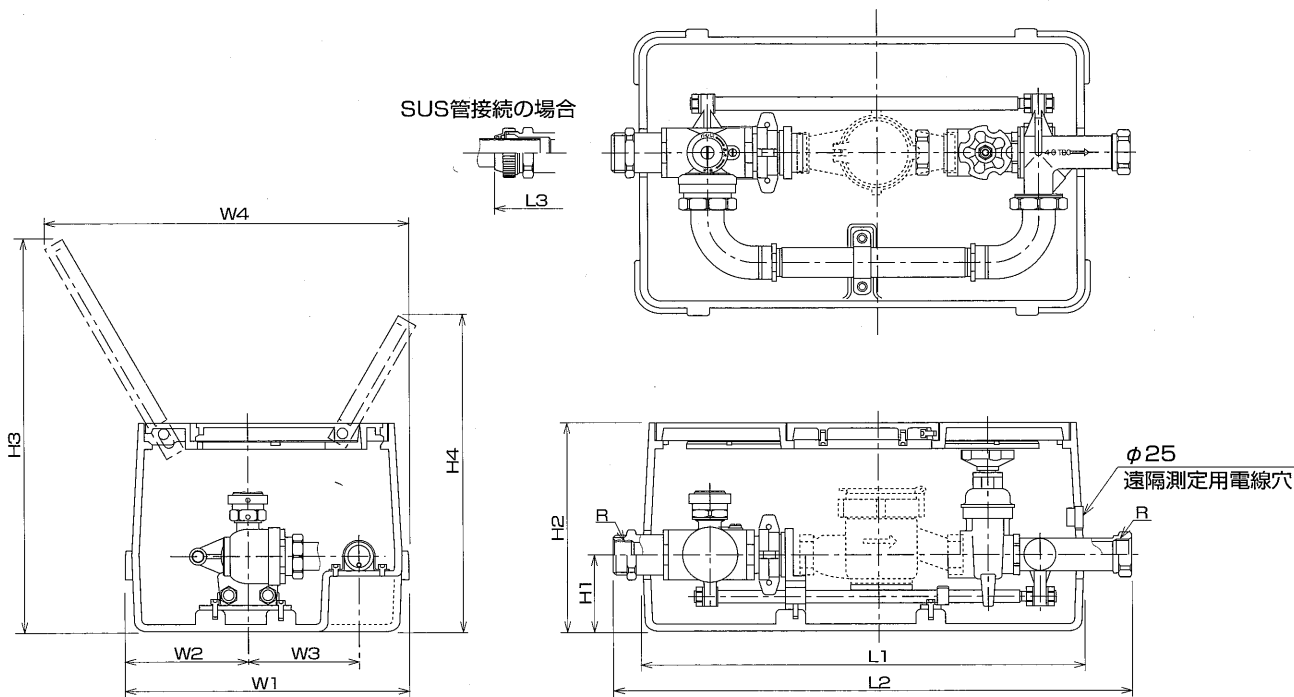
12. ユニット及びメータ接続部からの漏水がないことを確認した後、結束バンド(東京都水道局支給品)でメータハンドルとビームを結束し、ハンドルが回転しないようにしてください。(P3・5参照)

停水作業

メータの交換後、すぐに水を使用する必要がない場合、または緊急停止の必要が生じた際には停水ハンドル(東京都水道局の管理)を使用し、停水ハンドルの溝を弁棒上面の赤溝と向きを合わせて流路切換弁の上部に差し込み、停水位置に切換えください。

POINT ■ 停水ハンドルは通水位置・停水位置のどちらでも取り外すことができます。

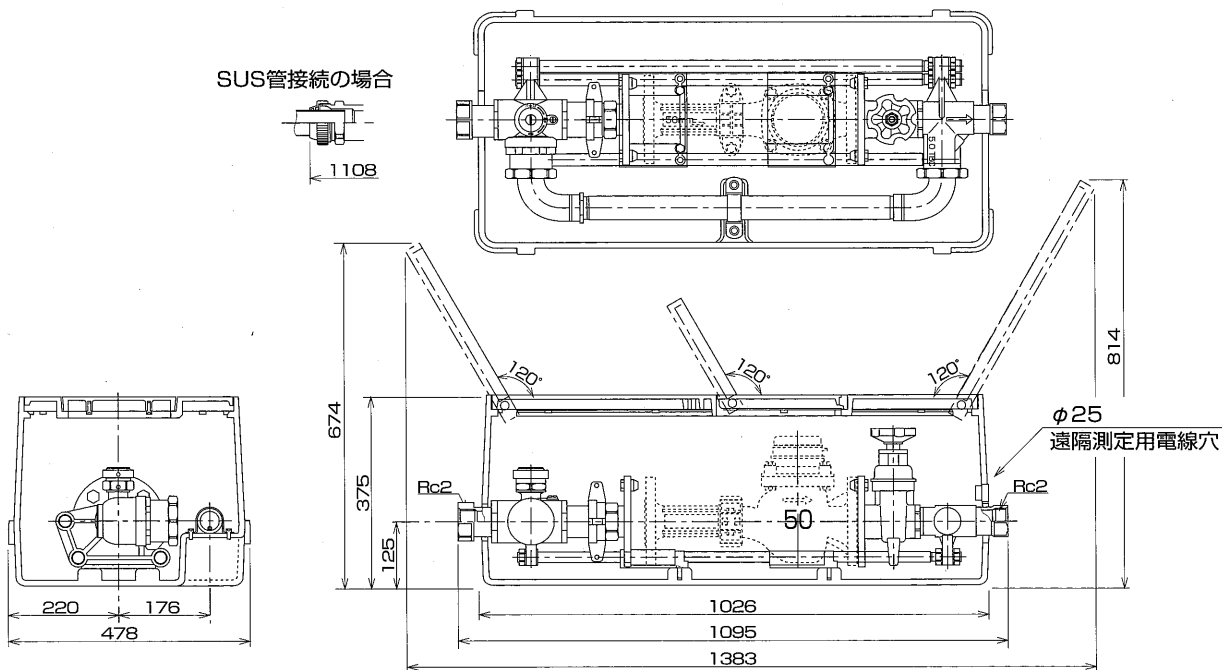
メータバイパスユニット 20~40 MTB ^{STA(-SJA)}_{GTA(-GJA)}



	L1	L2	L3	W1	W2	W3	W4	H1	H2	H3	H4	R	
サイズ	20	588	653	682	353	159	134	470	95	255	470	446	Rc 3/4
	25	588	657	683	353	159	134	470	95	255	470	446	Rc1
	30	648	715	729	408	179	157	547	115	305	556	496	Rc1 1/4
	40	678	774	790	423	185	166	578	115	315	595	506	Rc1 1/2

●一次側接続部が管用テーパめねじタイプにはG、水道用ステンレス鋼管接続タイプにはSが、また使用メータねじが都ねじタイプにはT、上水ねじタイプにはJが品番の後に付きます。

メータバイパスユニット 50 MTB ^{SF}_{GF}



●品番の後に付くFはフランジ式メータタイプを示す記号です。

株式会社 タブチ

本社・工場 / 〒547-0023 大阪市平野区瓜破南2-1-56 TEL 06-6708-0150 (代) FAX 06-6708-0210
URL <http://www.tabuchi.co.jp/>

- | | | | |
|--------------------------|--------------------------|--------------------------|-----------------------------|
| 札幌支店 TEL011-780-6166(代) | 千葉支店 TEL043-202-0121(代) | 大阪支店 TEL06-6708-0152(代) | 南九州営業所 TEL099-250-1090(代) |
| 盛岡支店 TEL019-656-5011(代) | 首都圏営業 TEL03-3458-2311(代) | 広島支店 TEL082-832-4355(代) | 沖縄営業所 TEL098-867-9121(代) |
| 仙台支店 TEL022-728-8081(代) | 静岡支店 TEL054-653-5530(代) | 福岡支店 TEL092-441-8421(代) | 新潟出張所 TEL025-201-2088(代) |
| 北関東支店 TEL027-323-1124(代) | 金沢支店 TEL076-221-0640(代) | 土浦営業所 TEL029-835-3520(代) | 建設業・リール課 TEL06-6225-3322(代) |
| 西関東支店 TEL048-450-8201(代) | 名古屋支店 TEL052-937-3481(代) | 岡山営業所 TEL086-222-5301(代) | 大阪特販課 TEL06-6225-3323(代) |
| | | | 東京特販課 TEL03-3458-2312(代) |